

平成19年5月8日

各 位

会 社 名 株式会社 梅 の 花  
代 表 者 名 代表取締役社長 梅 野 重 俊  
(コード番号 7604 東証第二部)  
問 合 せ 先 専 務 取 締 役 本 多 裕 二  
T E L 0 9 4 2 - 3 8 - 3 4 4 0

平成19年9月期中間期及び通期業績予想の修正について

最近の業績動向等を踏まえ、平成18年11月24日に発表いたしました平成19年9月期（平成18年10月1日～平成19年9月30日）中間期及び通期の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 業績予想

(1) 中間連結予想 (平成18年10月1日～平成19年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前 回 予 想 (A) (平成18年11月24日発表)	10,422	564	255
今 回 予 想 (B)	10,376	728	419
増 減 (B-A)	△ 46	163	163
増 減 率	△ 0.4%	28.9%	64.2%
前中間期実績 (平成18年9月中間期)	10,053	666	△ 572

(2) 中間個別予想 (平成18年10月1日～平成19年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前 回 予 想 (A) (平成18年11月24日発表)	3,275	91	35
今 回 予 想 (B)	3,384	115	7
増 減 (B-A)	109	23	△ 27
増 減 率	3.3%	25.8%	△ 78.3%
前中間期実績 (平成18年9月中間期)	3,303	147	53

(3) 通期連結予想 (平成18年10月1日～平成19年9月30日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想 (A) (平成18年11月24日発表)	20,406	900	389
今回予想 (B)	20,303	1,080	535
増減 (B-A)	△103	179	145
増減率	△0.5%	20.0%	37.4%
前期実績 (平成18年9月期)	19,742	1,020	△692

参考：1株当たり予想当期純利益 (通期) 20,320円06銭

(4) 通期個別予想 (平成18年10月1日～平成19年9月30日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想 (A) (平成18年11月24日発表)	6,524	186	82
今回予想 (B)	6,633	209	44
増減 (B-A)	108	22	△38
増減率	1.7%	12.1%	△46.5%
前期実績 (平成18年9月期)	6,570	200	△580

参考：1株当たり予想当期純利益 (通期) 1,680円42銭

## 2. 修正理由

(1) 中間連結予想 (平成18年10月1日～平成19年3月31日)

- ① 売上高につきましては、前年同期に対し既存店1.5%減と予想しておりましたが、1.8%減で推移しました。また前期出店店舗及び今期新規店舗は当初計画を5.4%下回りました。その結果前回予想比46百万円 (0.4%) 減を見込んでおります。
- ② 経常利益につきましては、主に売上高減少に伴う売上総利益の減少はあったものの、生産性の向上による人件費の削減、広告宣伝費、修繕費を期初計画より削減した事及び賃料等の固定費の減少等により、前回予想比1億63百万円 (28.9%) 増を見込んでおります。
- ③ 特別利益につきましては、前期に計上した米国子会社 (100.0%出資) への閉店損失引当金64百万円の戻し入れ等により、66百万円を見込んでおります。
- ④ 特別損失につきましては、下期中に1店舗の閉鎖予定による閉店損失の引当金78百万円の設定、また店舗リニューアルによる除却費用14百万円等により、99百万円を見込んでおります。
- ⑤ 従いまして、中間連結業績の見通しは売上高103億76百万円、経常利益7億28百万円、中間純利益4億19百万円を予想しております。

(2) 中間個別予想 (平成18年10月1日～平成19年3月31日)

- ① 売上高につきましては、連結子会社への食材の供給及びロイヤリティ収入が増加し、前回予想比1億9百万円(3.3%)増を見込んでおります。
- ② 経常利益につきましては、人件費の増加はあったものの、売上高の増加による売上総利益の増加、広告宣伝費等の削減により、前回予想比23百万円(25.8%)増を見込んでおります。
- ③ 特別利益につきましては、主に前期に計上した梅の花26(100.0%出資)及び米国子会社(100.0%出資)に対する貸倒引当金及び投資損失の戻し入れ等により1億5百万円を見込んでおります。
- ④ 特別損失につきましては、主に梅の花27(100.0%出資)及び梅の花不動産管理(100.0%出資)に対する貸倒引当金の設定等により、2億23百万円を見込んでおります。
- ⑤ 従いまして、中間個別業績の見通しは、売上高33億84百万円、経常利益1億15百万円、中間純利益7百万円を予想しております。

(3) 通期連結予想 (平成18年10月1日～平成19年9月30日)

- ① 売上高につきましては、既存店において前年同期比1.8%減と予測し、前回予想比1億3百万円(0.5%)減を見込んでおります。
- ② 経常利益につきましては、売上高減少に伴う売上総利益の減少は予測されるものの、生産性の向上による人件費の削減、また9月に新規出店2店舗を予定しておりましたが、1店舗に変更したことによる出店費用の減少等により、前回予想比1億79百万円(20.0%)増を見込んでおります。
- ③ 特別利益につきましては、前期に計上した米国子会社(100.0%出資)への閉店損失引当金の戻し入れ等により、66百万円を見込んでおります。
- ④ 特別損失につきましては、下期中に1店舗の閉鎖予定による閉店損失の引当金の設定、店舗リニューアルによる除却費用等により、99百万円を見込んでおります。
- ⑤ 従いまして、通期連結業績の見通しは、売上高203億3百万円、経常利益10億80百万円、当期純利益5億35百万円を予想しております。

(4) 通期個別予想 (平成18年10月1日～平成19年9月30日)

- ① 売上高につきましては、連結子会社への食材の供給及びロイヤリティ収入が増加し、前回予想比1億8百万円(1.7%)増と見込んでおります。
- ② 経常利益につきましては、人件費の増加は予測されるものの、売上高の増加による売上総利益の増加、また広告宣伝費の削減により、前回予想比22百万円(12.1%)増を見込んでおります。
- ③ 特別利益につきましては、主に前期に計上した梅の花26(100.0%出資)及び米国子会社(100.0%出資)に対する貸倒引当金及び投資損失の戻し入れにより1億5百万円を見込んでおります。

- ④ 特別損失につきましては、主に梅の花 2 7（100.0%出資）及び梅の花不動産管理（100.0%出資）に対する貸倒引当金の設定等により、2億23百万円を見込んでおります。
- ⑤ 従いまして、通期個別業績の見通しは、売上高66億33百万円、経常利益2億9百万円、当期純利益44百万円を予想しております。

以 上